

MD050_SPF_COI_010 HHT情報連携	説明: 営業員在庫情報・気づき情報・VDコラムマスタ情報・ 拠点品目情報 をHHTに連携します	作成日	2008/06/10	作成者	SCS 西川	更新日	2011/04/25	更新者	SCS 関根	Ver.	Issue3.1
---------------------------	--	-----	------------	-----	-----------	-----	------------	-----	-----------	------	----------

処理概要

HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。

- ①営業員在庫情報
- ②気づき情報
- ③VDコラムマスタ情報
- ④**拠点品目情報**

システム利用者

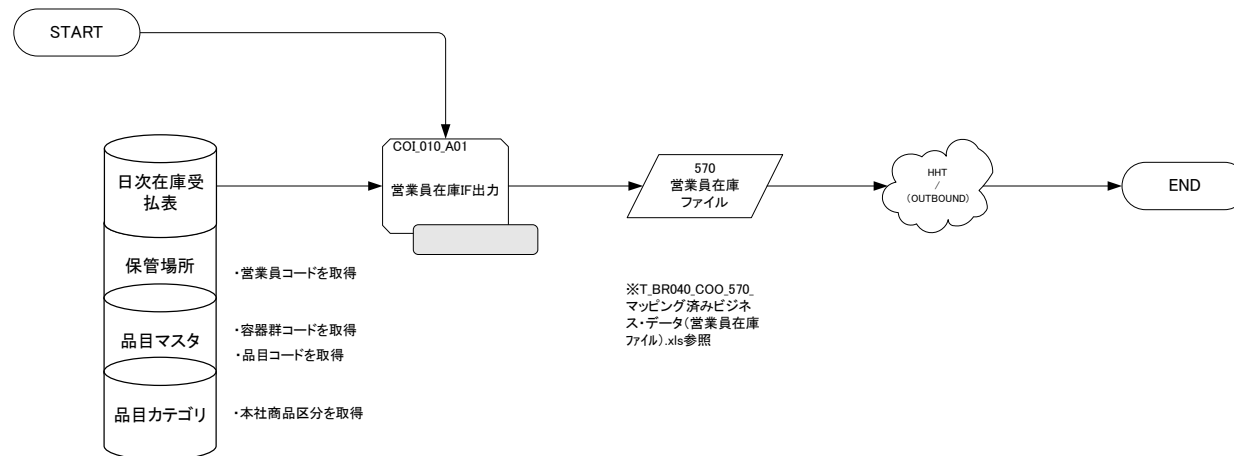
システム連携のみ

処理タイミング、その他

運用時間終了後に1回/日実行する。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COI_010 HHT情報連携	説明: 営業員在庫情報・気づき情報・VDコラムマスタ情報・ 拠点品目情報 をHHTに連携します	作成日	2008/06/10	作成者	SCS 西川	更新日	2011/04/25	更新者	SCS 関根	Ver.	Issue3.1
---------------------------	--	-----	------------	-----	-----------	-----	------------	-----	-----------	------	----------

処理概要

HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。

- ① 営業員在庫情報
- ② 気づき情報
- ③ VDコラムマスタ情報
- ④ **拠点品目情報**

システム利用者

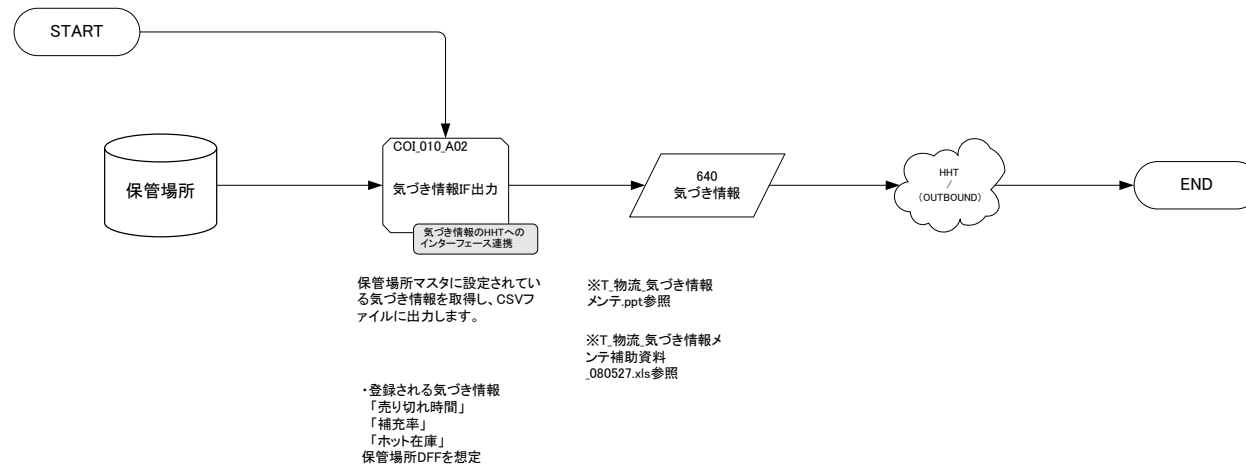
システム連携のみ

処理タイミングその他

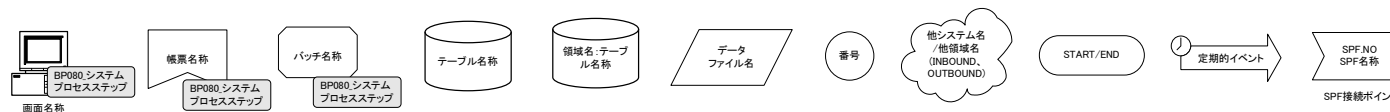
運用時間終了後に1回/日実行する。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



処理概要

HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。

- ① 営業員在庫情報
- ② 気づき情報
- ③ VDコラムマスタ情報
- ④ **拠点品目情報**

システム利用者

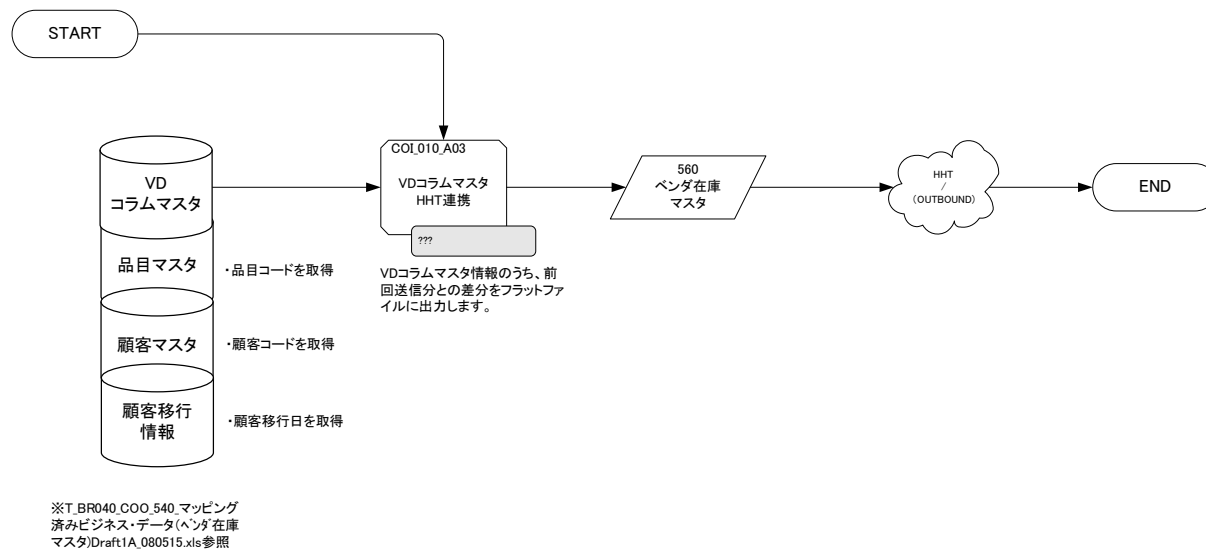
システム連携および拠点 内務担当者
(コンカレントの随時実行は可能だが、HHTまで全て連携可能かは未定)

処理タイミング、その他

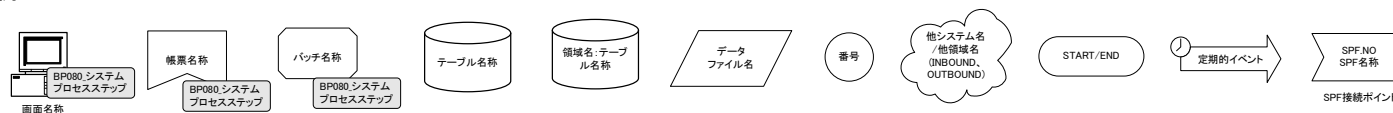
運用時間終了後に1回/日実行および手動により随時実行する。
前回送信からの差分を出力する。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COI010 HHT情報連携	説明: 営業員在庫情報・気づき情報・VDコラムマスタ情報・拠点品目情報をHHTに連携します	作成日	2011/04/25	作成者	SCS 関根	更新日	2011/04/25	更新者	SCS 関根	Ver.	Issue3.1
--------------------------	---	-----	------------	-----	-----------	-----	------------	-----	-----------	------	----------

処理概要

HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。

- ①営業員在庫情報
- ②気づき情報
- ③VDコラムマスタ情報
- ④拠点品目情報

システム利用者

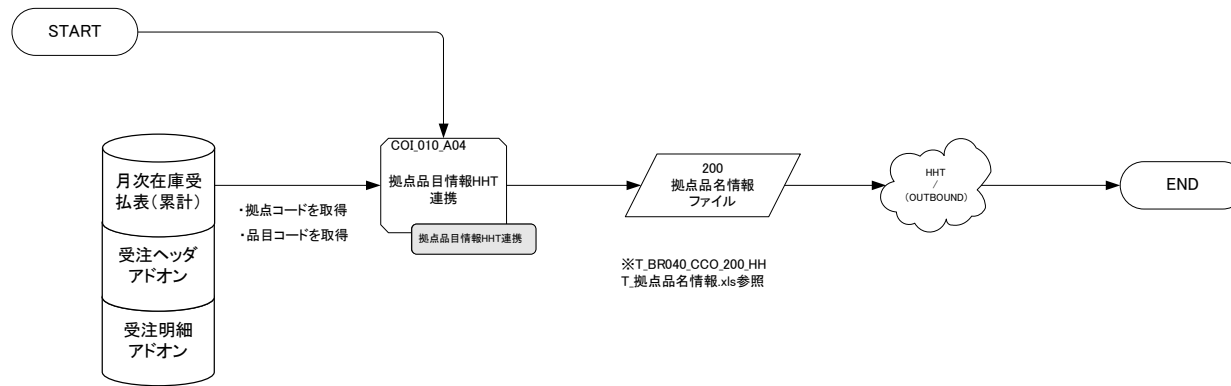
システム連携およびシステム運用者

処理タイミング、その他

運用時間終了後に1回／日実行、および手動により随時実行する。

システムプロセスフロー 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

